



オンラインによる新春交流会 ～4か国5グループと日本人会員を結んで～

2021年2月20日(土)、新型コロナウイルス感染症拡大のため、日本国内では11都府県に緊急事態宣言が発令されている最中、アジアの新しい風の新春交流会が全参加者をオンラインで結び開催されました。参加者は交流校のIメイト学生67名、指導教員6名、日本在住会員64名、ゲスト4名の総勢140名を超える盛大な新春交流会となりました。

第一部

交流校との時差を考慮し、日本時間の午前11時直前に、参加者をオンライン画面で記念撮影した後、11時に総会司会の元Iメイト留学生、チャン・トゥ・チャンさん(現在日本企業勤務)が開会を宣言しました。加納啓良理事長から「今回の新春交流会は例年のように、ランチタイムの懇親会や対面で語り合う事は叶いませんが、アジ風の全交流校を結んでのオンラインによる交流会です。存分にIメイト学生の発表を楽しんで頂きたい」と挨拶がありました。

4大学5グループからの発表

最初の発表はタマサート大学です。司会はチャヤーナン・タナナクルさんとカンヤラット・パッドスリさん。タサニー・メータースピット先生からご挨拶を、続いて日本語学科長のシリワン・ムニンタラウォン先生からもお話を頂きました。学生たちは動画「コロナ禍の生活」に始まり、楽しいカバー曲の披露、タイの伝統的な楽器を紹介し、その演奏ビデオでは、日本の雅楽を思わせる優雅な音色に参加者はうっとりとして聴き入りました。

2番目の発表は清華大学です。まず陳朝輝先生から「友好」について、アジ風の会員とIメイト学生のようにお互いを大切に思い好きになる事という意味だ、とのお話を頂きました。その後、司会の鐘希君さんの「春節」についての話や、切れ味鋭いストリートダンス、素晴らしい歌声が披露されました。

3番目はパジャジャラン大学です。新任のサムスルマアリフ先生のご挨拶、それからベルリアナヌグラヘニさんの司会で、自宅にいるIメイト学生11名からのメッセージとともに、それぞれが日本の曲に合わせて、元気一杯の笑顔で踊ってくれました。現地は新型コロナ感染者が増加し厳しい状況ですが、そんな状況は全く感じさせない明るく若々しい発表でした。

4番目は貿易大学です。司会はド・ティ・トゥアンさん。まず日本語学部長のチャン・ティ・トゥ・トゥーイ先生からご挨拶を頂きました。学生たちは、貿易大学について動画に説明を加えながら詳しい紹介をし、ベトナムの北部・中央・南部各地方のお正月「テト」や、ベトナム料理についての話の後、再度「テト」についてPPTで丁寧な説明があり、日本人会員はベトナム文化やテトの

ベトナムのお正月
「テト」

〈お国柄の出るカラフルな正月飾り〉

習慣の理解を深めました。

大学からの発表の最後は架け橋グループです。東京工業大学職員でコーディネーターの王亜民さんからご挨拶を頂きました。続いて、李丹さんと肖夢簡さんの司会で、学生のビデオによる自己紹介の後、琵琶の演奏、トランペット演奏、そして、3人での日本の名歌「昴」の合唱で締めくくりました。学生達の熱演・熱唱は日本人会員の胸に沁みました。



琵琶を演奏する
架け橋グループの
董芳含さん

日本人会員の発表

日本人会員も負けじと発表しました。一人目は司会の島村美智理事が日本に関する4問のクイズをIメイト学生たちに投げかけました。チャットへの書き込みで正解者の多い事が分かりました。

次は正会員の奥山正昭さんがPPTを使い「日本の生活文化について」の話です。神棚と仏壇が同居する居間の様子など、日常生活の中にある宗教感の判りやすいレクチャーでした。最後はアジ風正会員でシンガー&アーティストの金井優佳さんが日本の抒情歌「浜辺の歌」と鬼滅の刃のテーマソング「紅蓮歌」を熱唱。心洗われる歌声に参加者は皆うっとりとして聞き入りました。チャットには「天使の歌声」とのコメントが入りました。



(和食の味わいを活かす基本は調味料)

***ここで第一部は終わり、海外から参加の学生達とはお別れです。参加者全員画面をオンに戻し、手を振って別れを惜しましました。

第二部

日本の参加者64名は8グループに分かれ、第一部の感想やコロナ禍の生活、今後の交流会への希望などを自由に話し合いました。

会員の感想

- ・清華大学の先生の「友好」についてのお話に感銘を受けた。
- ・日中の政治的な関係が微妙な時期において、Iメイトとの対話に気を使っていたが、先生のお話を伺って人間同士の付き合いに戻って交流したいと思った。
- ・コロナの影響でオンライン交流会になったのではあるが、4大学の学生が一堂に会することができ、すごく良かった。
- ・各大学の発表は正月の慣習などの説明に加えて歌や踊りのパフォーマンスもあって素晴らしかった。
- ・東京中心でなく、グローバルな交流会が開催できてよかった。参加した学生たちも、収穫があったと思う。
- ・Zoomのチャットの機能が良かった。
- ・今後も4大学が参加するオンライン交流会を年1回程度実施したらよい。
- ・特に、新しい歌がカバーされていたことに新鮮さを感じたことと、年配の私たちにも配慮されたパフォーマンスもあったことに優しさも感じた。
- ・オンラインでの発表だったので、こちらからの反応を学生たちに伝えられなかったことが残念だった。

(事務局長 古海 正子) (*P2参照)

～ Zoom 交流会の舞台裏～

当日の楽屋は、文京区本郷にある僕のマンションの一室でした。続々と Zoom 画面に入室してくる会員のみなさんを名簿でチェックしながら「うまく行かな」と少し心配だったことは確かです。

僕の仕事は主に、事前に入手していた動画をスケジュールに沿って UP する、というもので、そんなに大した仕事ではなく、いわば古海事務局長のコンサルタントみたいな存在でした。

それよりも大変だったのは、リハーサルです。各大学から事前に届いた、動画、パワーポイント、資料、そのバックアップ、など事務局の古海さん、奥山さんと 4 回にわたり、合計 7 時間ほど打ち合わせました。正直に言うと、その時はあまりうまく行かなかったのですが、当日は予想以上に順調に行き、ホッとしたわけです。

各大学のパフォーマンスで印象的だったのは、清華大学の女学生が生歌（なまうた）を要望されて、ずいぶん躊躇していた場面

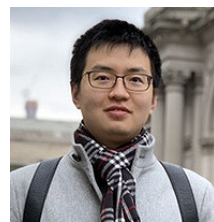
です。同じ中国人としてドキドキしましたが、歌い出してくれて、良かったと思いました。ライブならではのハプニングでした。

それから参加者の皆さんから、チャットでたくさんコメントが流れたこと、グループデスカッションの部屋へ訪問したらみなさん楽しそうに談笑しておられたこと、活動への情熱が感じられてとてもいい雰囲気でした。

僕の勤務先での仕事はシステムエンジニアですが、こういう Zoom のプロデュースは、初めての体験でしたから、学ぶことは多かったです。その日約 5 時間、僕は自室を一步も出ず舞台裏にいましたが、久しぶりに故郷に帰った気分と、アジアの国々を訪問した感じで高揚感に浸りました。

冀 毅（ジ イ）賛助会員・IT サポーター

（聞き取り & タイトル 詠 理事長代行 上 高子）



～ アジアの新しい風オンライン交流会に参加して～

毎年、多くの生徒たちがお世話になっているアジア風の交流会ですが、今年度は開催日が授業日と重なったため、参加することができませんでした。しかしオンライン開催というメリットを生かして、学校を代表して 2 人の教員が部分的に参加させて頂きました。

今回のオンライン交流会を通じて感じたことは、たとえオンラインであっても、世界各国の人々と交流の場をもつことの良さです。報道で世の中を知るだけではなく、一人ひとりの個性が見える場で交流してこそ、真の国際理解が生まれると確信しました。生徒たちには、ぜひ 10 代のうちからそのような場に身を置き、視野を広げ、人間としての幅を広げてほしいと心から願っています。

今年度は生徒たちの参加は叶いませんでしたが、ぜひ次年度以降もお声かけいただけたらと思います。今後ともよろしく願いたします。（鷗友学園女子中学高等学校教諭 伊藤 弘顕）



～ 丹波新聞 2/25 付 コラム・丹波春秋より（要約）～

新春交流会がコロナ禍のためリモートになり、いつもは東京近辺の会員と日本の大学への留学生に限られている参加者が、ネットの利点で関西や九州の会員のほか 4 大学の現地学生も可能になり、総勢 140 名。学生達はコロナ禍の中での生活、春節の行事や料理の紹介をした。感染者が百万人を超すインドネシアの学生が「もう世界の終わりかと思っていたが、皆さんの顔を見て元気づけられた」、タイの学生は「買い物は現金を使わず、QR コード決済にしている」と話し、それぞれ得意な歌やダンスを自宅気分で伸び伸びと披露してくれた。

リモート初体験の筆者は戸惑いながら加わったが、他にも同様の人が少なくなくて安心。5 時間がまたたく間に過ぎ、「メールの文字だけの日本語指導より、親近感がぐっと深まった。これを応用して新しい交流の仕方が色々工夫できそう」などの意見が多く出て、例年の交流以上に盛り上がった。家に籠もりがちな昨今、世界に眼を開くことが出来たひと時だった。

（正会員 小田 晋作）

会員・学生からの感想

時代の波に乗って初のオンライン交流会。事務局の皆様の大変なご苦労とご努力は想像以上だったことと思います。

その甲斐あって、とても素晴らしいものでした！特に、若者たちのエネルギーで幅広いパフォーマンス、伝統や音楽から今のノリのいい音楽や踊りの数々！一生懸命練習したのでしょね。おかげで元気をいっぱいいただきました。

（正会員 M・N）

大学の協力の成果を十分に味わうことができ、各国のプレゼンテーションは、それぞれ限られた時間内で構成され、特色が表れていると思いました。会を重ねることを期待したいです。学生さんたちのデモンストレーションも独自に組み立てられたことがよかったです。しかも、時代の変遷を味わうこともできました。全てのプログラムが手作りで、知恵と演技の集積に今後の継続の大切さを示しているように思います。

（正会員 M・F）

今日の交流会に参加できるおかげで、たくさん素晴らしい日本語学習者と出会って、他国の文化を理解できて、とても良かったです！

（貿易大学 グエン・マイン）

とても楽しかったです。これは私の初めてなので緊張しました。挨拶の時には声が震えてしまいました。先輩たちのおかげでそんなパフォーマンスが出来ました。皆様の喜ばせることが出来て、嬉しかったです。

（パジャジャラン大学 エミリオ ケビン）

今日の貿易大学の発表は成功しました。ほめてもらった言葉を学生たちに伝えます。みんな聞くと、とっても嬉しいと思います。また直接に会うチャンスに楽しみにしています。

（貿易大学 ド・ティ・トウアン）

素晴らしい交流会になりましたね。感動、感心、同感、発見の連続でした。新型コロナ禍にあっても若い学生さんたちが素晴らしい感動を届けてくれました。アジア風の歴史に確実に残る一日になったと思います。2018 年 7 月の Web 座談会にお声かけいただき参加した当時は、オンラインの世界がここまで広がるとは全く予想していませんでした。新型コロナの影響とはいえ世の中の動きの速さに驚くばかりです。私の I メイトの貿易大の二人も交流会に参加してくれているのが分かり、嬉しかったです。

（正会員 H・A）

学生さん達のパフォーマンス、たいへん面白く、楽しかったです。インドネシアの若い人達は、どこから 50 年前の歌を見つけ出したのかと驚きました。学生達のコメントに日本の何を学びたいとか わざわざ言わなくてもいい程に、留学が気軽に考えられる身近になっているのだなと嬉しく感じ、コロナ禍の往き来の不自由さもなんのその。若さに拍手でした。

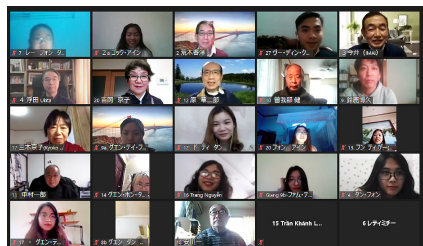
清華大学の先生の身近な人達と手を繋ぎ合うことから 友好の一步を踏み出す心持ち、アジア風精神だと思いました。

（正会員 K・Y）



～～貿易大学との大規模交流会で、小グループ会の楽しさ～～

1月31日(日)16時から貿易大学との第2回オンライン交流会が開催された。今回は会員25名、学生22名、総勢47名という大規模交流会となった。



交流会は奥山寿子理事の挨拶、全員の名前紹介による顔合わせから始まり、学生コーディネーターによるIメイト交流や大学の近況報告と続いた。

その後小グループに分かれて自己紹介と学生が用意したテーマ『お互いの国の文化で不思議に感じること』『ストレス解消法』について話し合い、最後全体会にて各グループ毎のまとめ発表を全体共有し散会となった。

1時間半の交流会、特にグループ会は瞬間に過ぎた。『なぜ日

～～道を更に進めるために～～

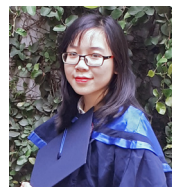
10年前私が留学で初めて外国、そして初めて日本にきました。これは私のグローバル人材になる夢の一步目でした。日本で留学し、そして5年間勤務してきました。今年の3月末にシンガポールへの赴任が決定されました。グローバル人材になる道を更に進めていく感じで、ワクワクしています。これからアジアのためにもっと貢献できる機会ですね!但し、もう日本に戻らない訳ではありませんが、なんか寂しいです。人生の大切な10年日本で色々学ばせて頂き、楽しく過ごしてきました。このご時世で、旅立つ前にお世話になっている方に対してご挨拶もできず、とても残念です。また次にお会いできる日まで健康に気をつけましょう!では、行ってきます!



(元Iメイト学生・正会員 チャン・トゥ・チャン)

～～コロナ禍の困難を乗り越えて～～

去年の10月から国費留学生として奈良女子大学大学院の研究生として入学することになった。しかしコロナの影響で、大変なことがたくさん出てきた。国費留学生の採用通知は得たが、卒業証明書が必要だった。貿易大学は閉鎖され、中々証明書発行をしてもらえなかった。卒業証明書を提出しなければ、国費学生でも受け入れられないと、奈良女子大学から何回も注意され、特例として発行してもらった。次はビザ申請の問題が起きた。大使館に問い合わせようやく取得できた。更に困難は続く。来日が2か月遅れた為授業も受けられず、図書館で勉強するしかなかった。しかし、先生のご指導、アジ風会員の応援のおかげで合格できた。何回も諦めることを考えたが、私はコロナのお陰で自分の限界を超えて成長できたと確信している。



(Iメイト学生 レー・ティ・ミー・チー)

正会員・石橋順子さんの新刊書紹介 —『東男と京女、峠の茶屋でひと休み』朝日新聞出版—

丹波の自然と家族の愛情に育まれ、好奇心と行動力のかたまりだった少女は、天職の語学教育や文学、歴史への好奇心と、国内外へ向かう行動力の益々旺盛な京女である。その京女・石橋さんの新刊本は、峠の茶屋で聞いた天の声に背中を押されて上梓された。他界された夫の声である。突然の別れで、人生には必ず光と影があると知った作者は「一緒に未来をつくろう」と思ったと書く。影を光に変えて「さあ、ここからが人生の後半戦」とも書く。分厚い知識と深い洞察力に裏打ちされた歯切れのよいエッセイ集は、東男・夫の君への相聞の書でもあろうか。

(正会員 原谷 洋美)



会員紹介

浮田 輝彦さん

今回もインタビューはZoomで行った。コロナ感染の恐れもなく、電車に乗って出かける手間も時間も省ける。慣れるとなかなか心地よい。

浮田輝彦さんは京都で生まれ、京都と神戸で育った根っからの関西人である。柔らかい温かみのある関西弁が快く響く。アジ風への入会は友人の武田高理事の紹介だが、その武田理事にアジ風入会を勧めたのは僕で、3人とも同じ大学、同じクラブ(ESS)の出身だった。

東芝に入社してからコンピューター関連の技術開発に従事し、インド人、中国人、タイ人など共にシステム開発をする中で、国・人種の違いを実感した。特にインド人の技術習得に対する意欲には敬服した。アジ風の活動を通じて、アジアをはじめ世界各国の人々との交流を通じて相互理解を深めることができると嬉しいですねと目を細めた。

これまでに3名のIメイトと2名の架け橋のお付き合いがあった。最初のIメイトは貿易大学生、一度中断したが、今年から

Zoomを利用して再開している。広島に留学後、横浜で会った。楽しい日だった。日本語専攻ではない架け橋の留学生との交流にはもう一工夫が必要ということだった。メールでの交流が徐々に少なくなっているようだが、SNSを利用した新しい交流の仕方を考えてみたいとも。



アジ風の今後については会費と寄付だけに頼る財務体質の弱さがネックではないかとの指摘と共に、アジア向けの奨学金を提供している法人との協力、有料日本文化教育講座の導入などを始めてはどうかとの提言があった。確かに経済的に豊かな社会人外国人のニーズがあるかもしれない。更に留学を志している日本人にアジ風の交流を通じて当該地の言語、生活環境等について学べるなら魅力になるし、若い日本人会員の獲得に役立つかもしれませんね、など次々いろんなアイデアが飛び出した。

(インタビュアー：園田 成和)



架け橋グループは、清華大学修士・博士課程の学生が、東京工業大学に留学するものです。世界的コロナ禍で留学待機組が2年分います。待機組は、清華大学で研究しながらIメイト交流も行っています。2月の新春交流会では、うっぴんを晴らすべく2組に先輩達もエールを送り、素晴らしい楽器演奏で支持を送りました。(※P1参照) コロナが収まれば9月に来日の予定です。首都圏のコロナ感染を終息させ、留学が叶うよう、我々も予防率先しましょう。

(Iメイト交流コーディネーター 松野 芳夫)

池浦 正子さんと高 旭東さんのメール

高さん→池浦さん

2020年12月15日



北京の最近の天気はとても寒いです。去年来たばかりの頃はよく風邪を引いたり咳をしたりしていましたが、幸い今年は病気になりませんでした。中国の旧暦の十二月は「臘月」と呼ばれ、新年を迎えるという意味です。ルビは私にとってとても役に立ちました！

池浦さん→高さん

2021年1月24日

日本も寒い日が続いています。コロナウイルスが、再燃して、日本国内中、大変なことになっています。早くコロナが終息しますように。

中国はもうすぐ、春節、お正月ですね。

高さん→池浦さん

1月29日

最近、私は北京から故郷の西安に帰って来ましたが、今年は確かに前より寒く感じます。送って頂いた写真の臘梅が大好きです！私の母もロウバイが大好きです。

私とクラスメートは西安で「社会实践」をして、たくさんの新しい変化と美しい景色を見ました。西安はまた有名な観光都市です。2月11日は新年です。春節の後は、「牛」年になります。これは私の干支です。ご家族の皆様も、新年を迎えて幸せで、健康でありますように。

池浦さん→高さん

3月1日

暖かくなりました。梅の花の季節は終わり、早咲きの桜が満開です。2月20日に、Zoomで新春交流会がありましたが、私は都合で参加出来ず、すみませんでした。

北京の春も近いですね。

高さん→池浦さん

3月12日

交流会では、同級生と谷村新司さんの「すばる」を歌いました。池浦さんはこの歌を知っていますか？機会があれば、一緒に歌いたいですね。

先週、私は学校の無料ワクチンを打って、多くのクラスメートも打っていました。状況は徐々に良くなっていると信じています。

最近、東京工業大学への奨学金を申請しています。うまくいけば、今年の9月にはたどり着けそうです。日本に行くのをとても楽しみにしています。



深尾 和一さんと石 忻然さんのメール

深尾 和一

昨年の11月から、石さんと交流しています。私にとっては初めての交流ですが、彼は日本語が上手で日本の音楽などにも詳しく、中国のことも教わりながら、楽しくやり取りしています。

石 忻然

交流について、とても楽しんでいると思います。深尾さんと友人になって、そして日本の文化やファッションも学びました。

石さん→深尾さん

2020年11月26日



私は、ちょっと昔(60～80年代)の音楽が大好きです。日本のあの頃の音楽も気に入って、特に昭和末期(80年代後半)のポップスが大好きです。最近、日本の80年代のポップスは「シティ・ポップ」と呼ばれ、80年代アイドル、ドラマとともに、中国の若者の間で大人気です。

深尾さん→石さん

12月5日

石さんの日本語が上手で驚きました。私は英語を覚えるのにかなり苦労をしたので、外国語で文章を書くことの難しさは分かります。石さんの日本語は自然で分かりやすいですよ。

石さん→深尾さん

12月17日

日本語が褒められて、とても嬉しいです。昔の音楽については、日本では角松敏生さん、杏里さん、松任谷由実さん、細野晴臣さんなどの「シティ・ポップ」系のアーティストの歌をよく聴いています。

深尾さん→石さん

2021年2月24日

中国ではもうすぐ春節ですね。石さんはどのように過ごす予定でしょうか？

石さん→深尾さん

2月8日

春節には「廟会(びょうえ)」という伝統のお祭りがありますが、今年も取り消されました。だから私も家にいる予定です。日本の「紅白歌合戦」は私も存じています。前の紅白で松任谷由実さんと桑田佳祐さんが一緒に出場した時、すごくわくわくしていました。

深尾さん→石さん

2月21日

昨日はアジ風新春交流会に参加して、とても楽しい時間を過ごせました。リアルタイムで石さんのお顔を見て、とてもうれしかったです。「昂」の歌も本当に良かったですよ。



今後の行事予定

*詳細はHPを参照

- 5月8日(土) 春のIメイト交流会
アジ風の歴史を落語で語る
(豆生田信一氏)
OBOG パネルディスカッション、会員交流
- 6月6日(日) 貿易大学スピーチコンテスト
- 6月末(予定) Iメイト勉強会
- (いずれもオンライン開催予定、詳細未定)

・・・編集後記・・・

日本では11都府県に緊急事態宣言が出ている中で、初めての試みとして5か国を結んだオンラインでの新春交流会が開催されました。事務局をはじめサポーターの皆さんの事前準備と裏方として当日の進行を手助け頂いて無事終了することができました。お陰を持ちまして、参加頂いた会員・学生双方から好評を得られたと思います。

2018年から編集長を務めていた奥山理事に代わり、今号から私が編集長の大役をお引き受けすることになりました。原谷編集委員と新たに加われた島村理事と共に、充実した記事と読みやすい紙面を目指してまいります。

編集委員としては皆さまからのご意見やご叱正が何よりの励みとなります。つきましては、会員の方からの忌憚のないご意見をお寄せ頂ければ幸甚に存じます。

(伊藤 莞爾)